

2026年3月期 第2四半期決算説明資料

2025.11.13



アジェンダ

- 業績ハイライト
- グループビジョンと成長戦略
- 直近のトピックス
- 会社概要

Results

業績ハイライト

第2四半期累計業績・通期計画サマリー

既存事業の成長とM&Aの進捗により業績は好調に推移し、第2四半期における売上高と営業利益、当期純利益は過去最高となりました。

<売上・営業利益の増加要因>

- 前期末に子会社化したエイ・クリエイション(ACR)の売上814百万円を連結に取り込みました。
- 既存事業の主要事業が堅調に推移した結果、対前年で売上は231百万円、営業利益は4百万円増加しました。

<経常利益の減少要因>

- 前期の経常利益は子会社保険解約返戻金(46百万円)により一時的な上昇がありました。

(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期(実績)	2026年3月期 第2四半期(実績)	前年同期比	2026年3月期 通期業績予想	進捗率
売上高	4,273	5,319	24.5%	10,500	50.7%
営業利益	306	341	11.3%	650	52.5%
営業利益率	7.2%	6.4%	-	6.2%	-
経常利益	365	360	▲1.3%	659	54.8%
当期純利益	198	206	4.5%	461	44.9%

事業概況

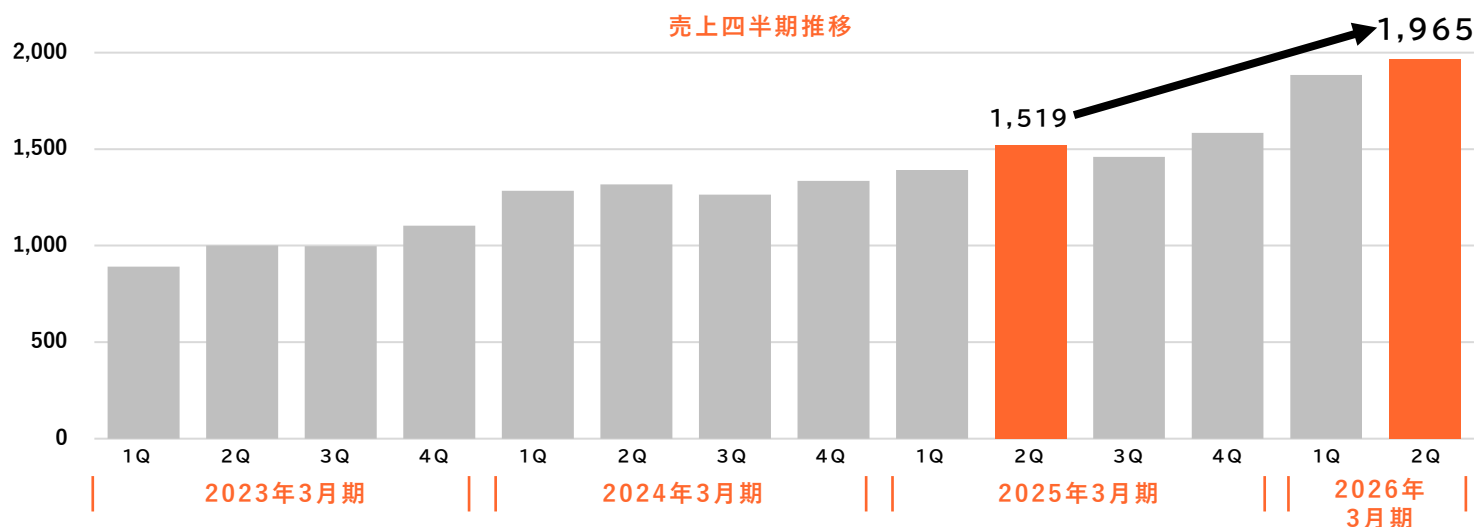
システム開発

ACRの業績取り込み、主要取引先のDX案件の継続的な増加や案件需要に対する体制整備により、前年同期比を上回る売上となりました。

(単位: 百万円)

- ・ 分野別では公共、サービス系が拡大
- ・ 既存システムの継続受注や新規取引先からの受注等により成長
- ・ プロジェクトの体制構築に一部苦戦するものの全体では堅調に推移

	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前年同期比
累計売上高	2,911	3,850	32.2%



事業概況

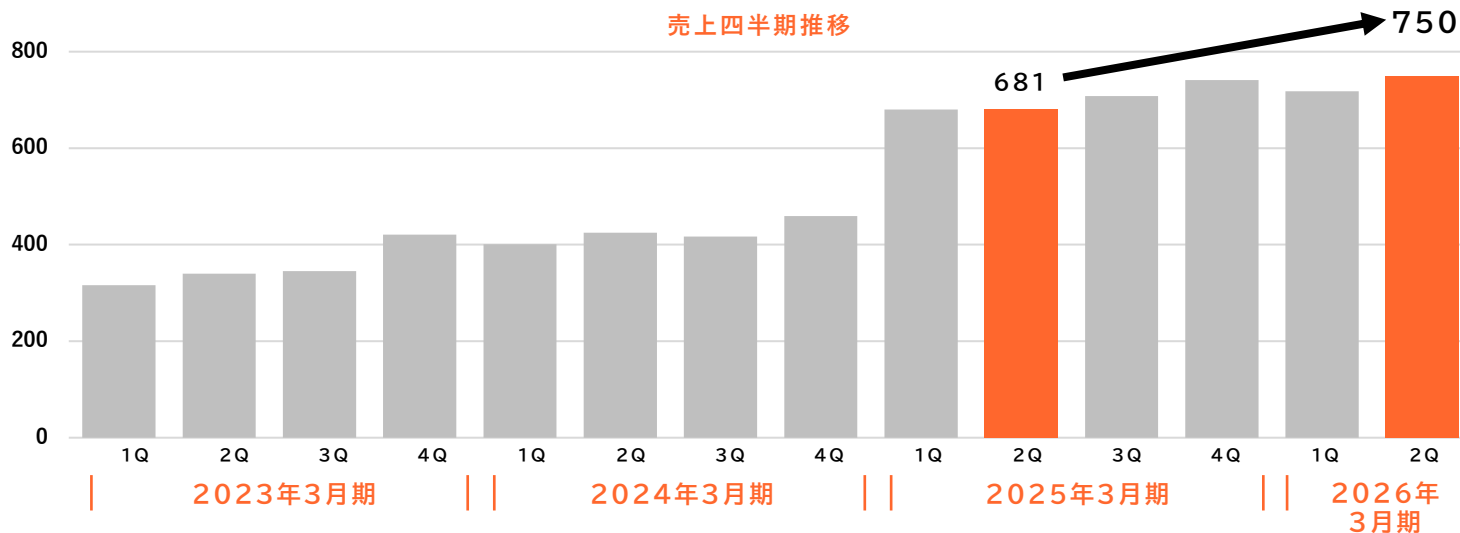
インフラ・セキュリティサービス

一部案件の前倒しやクラウド新規案件の獲得により堅調に推移しました。
単価交渉の成果で高利益率案件が増加したことにより、収益向上に貢献しました。

(単位: 百万円)

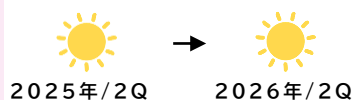
- ・ 分野別では金融、サービス系が好調
- ・ 脆弱性診断、メールセキュリティ案件でセキュリティ分野も堅実に推移
- ・ セキュリティコンサルティングや一次請けなどの案件高付加価値化が進行

	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前年同期比
累計売上高	1,361	1,469	7.9%



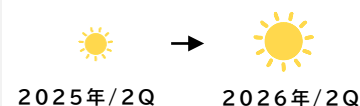
業界別の業績動向

行政



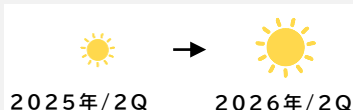
- ・ ガバメントクラウド移行支援で多数の大型案件稼働中
- ・ 高稼働、好調案件へ一部体制変更実施

金融



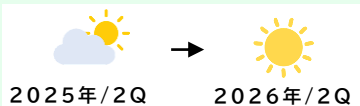
- ・ 部門連携による案件獲得で安定した状況
- ・ 大手銀行系案件の増加と、一次請け案件の増加で今後も拡大見込み

通信



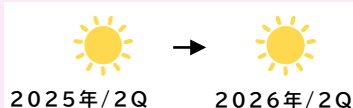
- ・ MVNO(仮想移動体通信事業者)向けシステム開発案件の契約継続
- ・ 単価交渉の継続や新規案件等への体制強化進行中

ヘルスケア



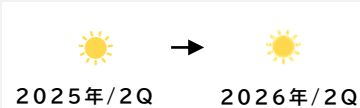
- ・ 業界全体が好調で引き合い増加中
- ・ 対応可能人材の獲得と安定稼働に今後注力

電力



- ・ CIS開発支援やスマートメーター制御管理システム開発支援に拠点複合チームで対応中
- ・ SIGのICT事業部主力のエネルギー系案件は安定し下期以降も新規案件獲得見込み

交通

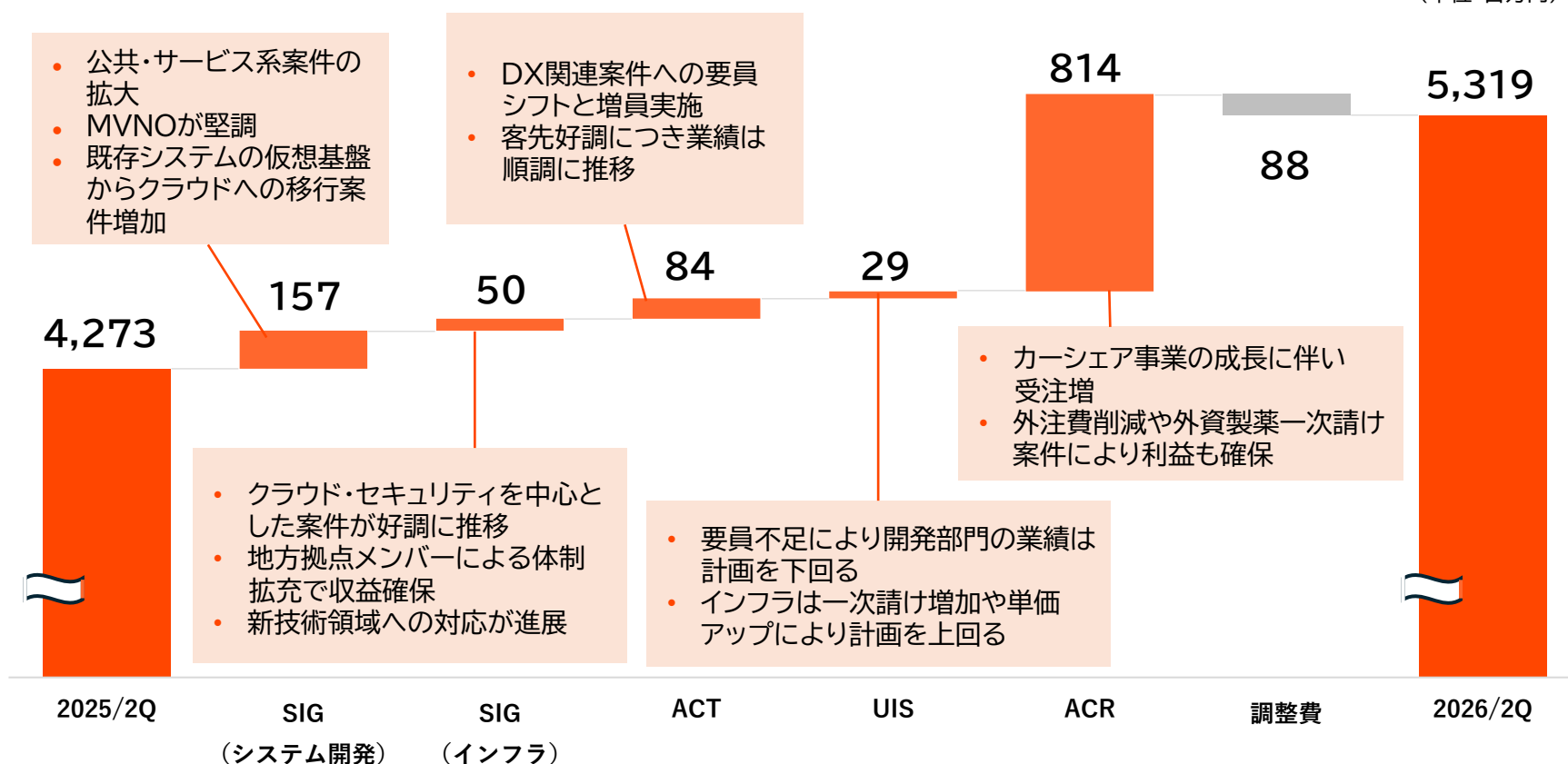


- ・ カーシェア事業の急成長に伴い案件増加中
- ・ テレマティクス案件は安定稼働

売上高の増減要因

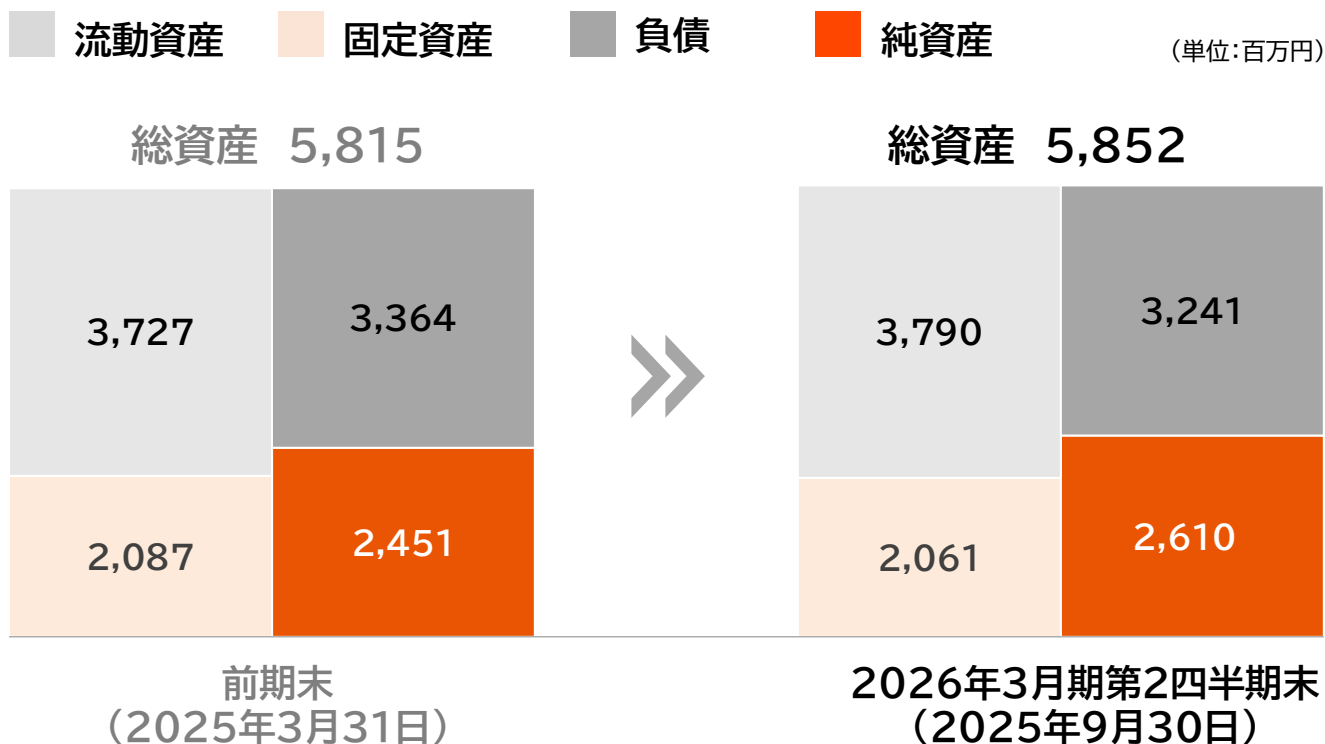
- 連結子会社となったACRの業績取り込みにより、売上高は大幅に上昇
- デジタルソリューション需要の高まりに、拠点間連携とグループシナジーで開発力を強化
- 需要拡大に伴い人員確保が課題

(単位:百万円)



貸借対照表

- 流動資産 : 前払費用の増加、売掛金の増加
- 固定資産 : のれん償却によるのれんの減少
- 負債 : 長期借入金の減少、未払金の減少
- 純資産 : 利益剰余金の増加



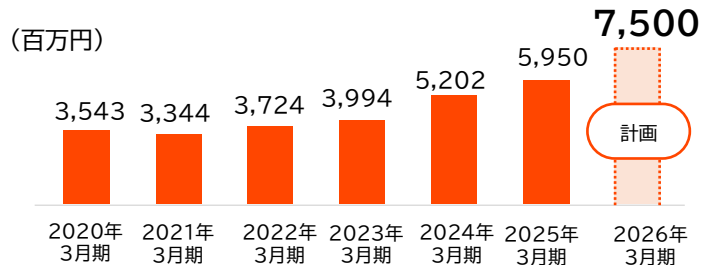
通期見通し

売上高	105 億円 (前期87.69億円)
営業利益	6.50 億円 (前期5.83億円)
経常利益	6.59 億円 (前期6.53億円)
当期純利益	4.61 億円 (前期4.77億円)

システム開発

前期実績:59.5 億円 ➡ 当期計画:75.0 億円
(前年比+26.0%)

- ACRの連結取り込みに加え、主要顧客の業績好調により堅調に推移
- ヘルスケア事業のアプリ開発追加受注、電力CIS開発の継続等



上半期時点での進捗率は概ね予想通りに推移

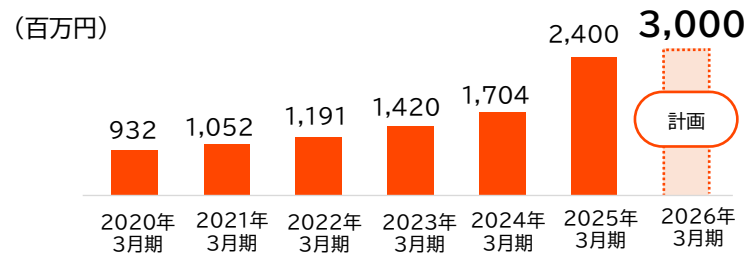
上半期状況

- 売上 : ACRの連結売上への取り込みにより前年に対して増加
- 営業利益 : 売上増加によりM&Aに伴うのれん償却や管理コスト、人件費増加等の販管費増加分をカバー
- 経常利益 : 助成金の受領により計画より上振れ

インフラ・セキュリティサービス

前期実績:28.1 億円 ➡ 当期計画:30.0 億円
(前年比+6.7%)

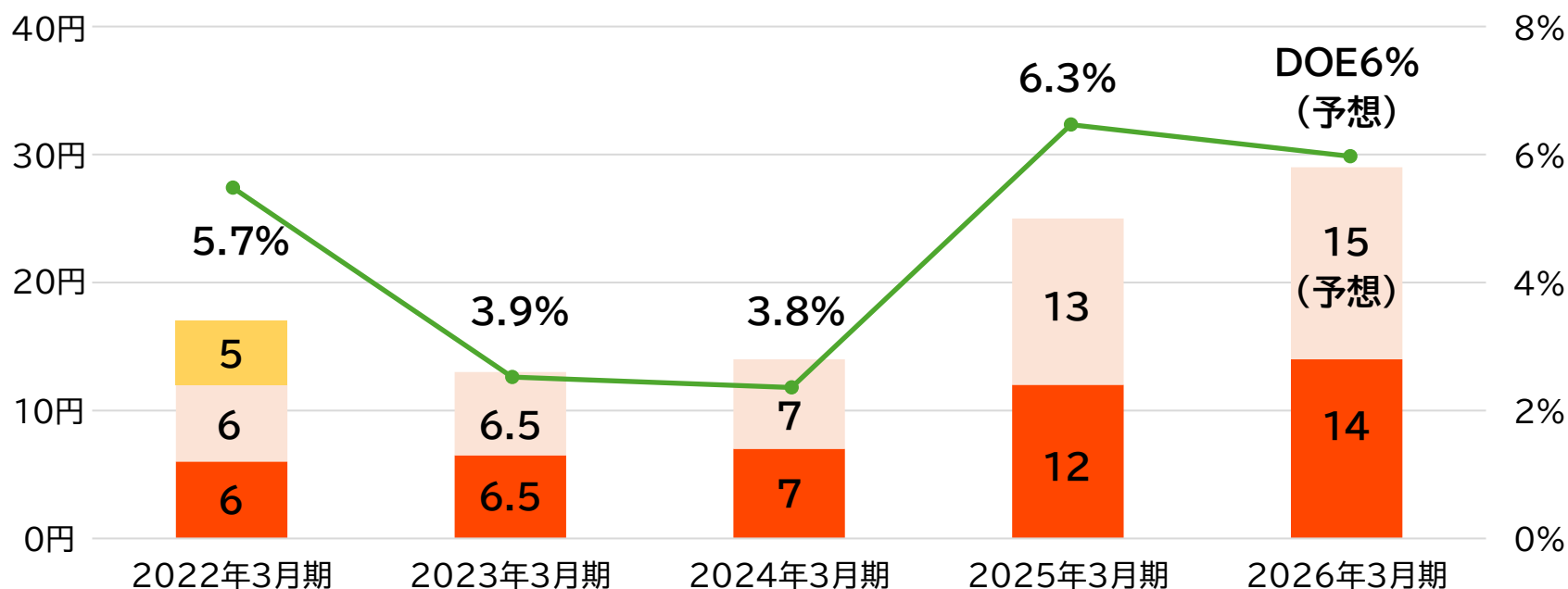
- DX・クラウドシフトの加速の継続
- ランサムウェア、サプライチェーン攻撃の常態化によるアセスメント需要の増加



配当金について

2025年3月期より配当方針を変更しており、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保資金を確保した上で、株主資本配当率(DOE)6%を目安として、安定した配当を実施することで継続的な株主還元を行うこととしております。

2026年3月期の中間配当金につきましては、1株あたり14円とさせていただきます。これにより、年間配当金は1株につき29円となる予定です。



株主優待の新設について

配当金に加えて、これまでの株主様のご支援に深く感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を導入いたします。

対象となる 株主さま

初回基準日(2026年3月末日)につきましては、継続保有期間に関わらず、当社株主名簿に記載または記録された300株(3単元)以上を保有されている株主様を対象といたします。

また、次回基準日(2027年3月末日)以降は、1年以上の継続保有期間が条件となります。

※1年以上の継続保有期間とは、毎年3月末日及び9月末日における当社株主名簿に、基準日から遡って同一株主番号で連続し、かつ下記a、b、cそれぞれの最小の保有株式数を下回ることなく3回以上記載または記録されていることを指します。

株主優待制度 の内容

	保有株式数	優待内容
a	3単元以上 ~ 5単元未満	QUOカード 3,000円分
b	5単元以上 ~ 10単元未満	QUOカード 5,000円分
c	10単元以上	QUOカード 10,000円分

※制度導入初年度となる2026年3月末日を基準日とする株主優待に限り、継続保有の条件は設けません。

贈呈時期 および方法

株主名簿に記載または記録された住所宛に基準日から3ヶ月以内を目処に発送いたします。

※株主優待制度の内容に変更が生じる場合には、速やかにお知らせいたします。

Vision

グループビジョンと
成長戦略

グループビジョン

市場環境の変化

- 気候変動・環境意識の高まり
- 地域の衰退・過疎化
- 少子高齢化・労働人口不足
- サイバーリスクの増加
- AIの台頭・技術革新

課題を包括的に解決できる
ITパートナーの需要増加

長期ビジョン

競争力の強化・包括的IT支援の実現

AI活用の促進

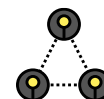
提携



部署連携・グループ
シナジーの強化

ITAC*

地域拠点の充実



顧客ロイヤリティを向上し
外部 CIO としての地位を確立

ガバナンス強化

BCP・セキュリティ対策
コンプライアンスの徹底
環境配慮

HR マネジメント強化

人材育成
働き方改革・ES向上
ダイバーシティの促進

サステナビリティ活動による経営基盤の強化

* ITACとは各部署が集まり、技術ノウハウの共有や新規プロジェクトの共創を通じた組織活性化を目的とした取り組み

2030年に向けた成長戦略

M&Aによる企業規模の拡大とともに、企業の外部CIOとしての機能の進化を追求します。

第1フェーズ ~2024

崖越え*に向けた
グループ体制の構築

ITの需要増とIT人材の不足へ対応するため、企業規模の拡大を目指します。

第1フェーズの評価

- 企業のDX需要加速による売上拡大
- M&Aによるグループ体制の構築
- 自社の作業環境のクラウド化促進

*崖越えとは「2025年の崖」に由来。
IT環境のシステム変換ニーズの高需要と、その需要に対応する人材不足を当社で対応しようという試み。

第2フェーズ ~2027

グループシナジーの創出
による企業価値の向上

グループ企業の強み・得意領域を再定義し、シナジーを創出します。

数値目標

- 売上:120億円
(うち30億はM&Aにより獲得)
- 営業利益:7.2億円

注力事項

AIを活用した
サービスの提供



セキュリティ
対策の強化



第3フェーズ ~2030

企業の外部CIOとしての
機能の進化

シナジー創出に留まらず、企業の外部CIOとしての機能を進化させます。

数値目標

- 売上:200億円
(うち80億はM&Aにより獲得)
- 営業利益:14億円

注力事項

共創パートナー
の拡大



対応する
地域拠点の拡大



第2フェーズの目標(～2027年)

グループ企業価値向上のKPIを営業利益とし、体制を再構築します。

方針

- グループのシナジーを強化し、企業価値を最大化
- サステナビリティ経営の実践
- グループ企業価値の向上
- M&Aを推進し、新しい事業領域や技術への取り組みを可能とする
- DOE(株主資本配当率)6%を目安とした配当方針

(単位:百万円)

	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (計画)	2027年3月期 (目標)
売上高	8,000	10,500	12,000
営業利益 (営業利益率)	420 (5.3%)	650 (6.2%)	720 (6.0%)
配当金 (DOE)	24円/株 (6.3%)	29円/株	(6.0%)

進捗

- 2025年3月期より、株式会社エイ・クリエーションが参画
- グループ間シナジーの強化
- 2025年3月期の配当はDOE6.3%を実現

持株会社

2025年9月30日現在

(株)SIGグループ

事業会社

(株)SIG

(株)アクト・インフォメーション・サービス

ユー・アイ・ソリューションズ(株)

(株)エイ・クリエーション

Topics

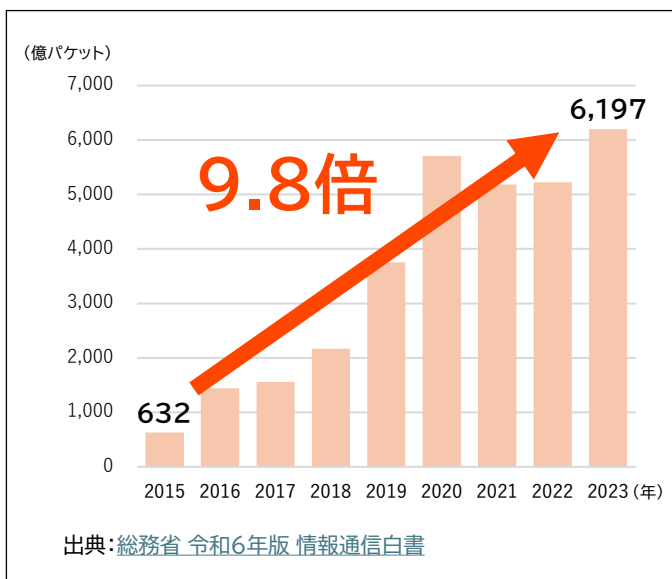
直近のトピックス

セキュリティ領域の課題

近年AIなどの技術革新が進む中サイバーリスクが増加の一途を辿る一方、諸外国と比較して日本におけるセキュリティ人材は不足しており、日本の大きな課題となっています。

増加するサイバーリスク

NICTERのダークネット観測で確認された総観測パケット数は年々増加しています。

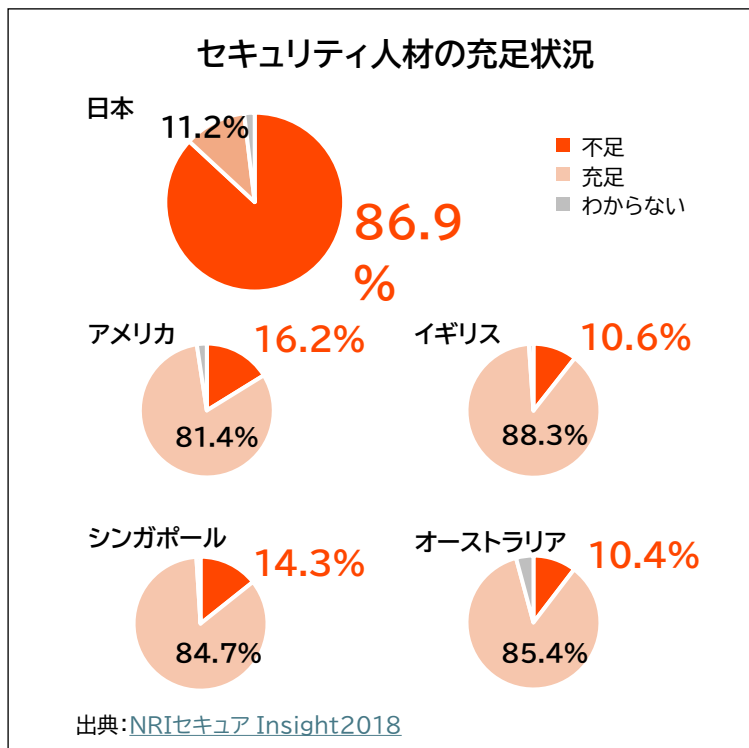


※ NICTER:国立研究開発法人情報通信研究機構の運用する大規模サイバー攻撃観測網

※ NRIセキュア:野村総合研究所グループの情報セキュリティ専門会社

日本のセキュリティ人材の不足

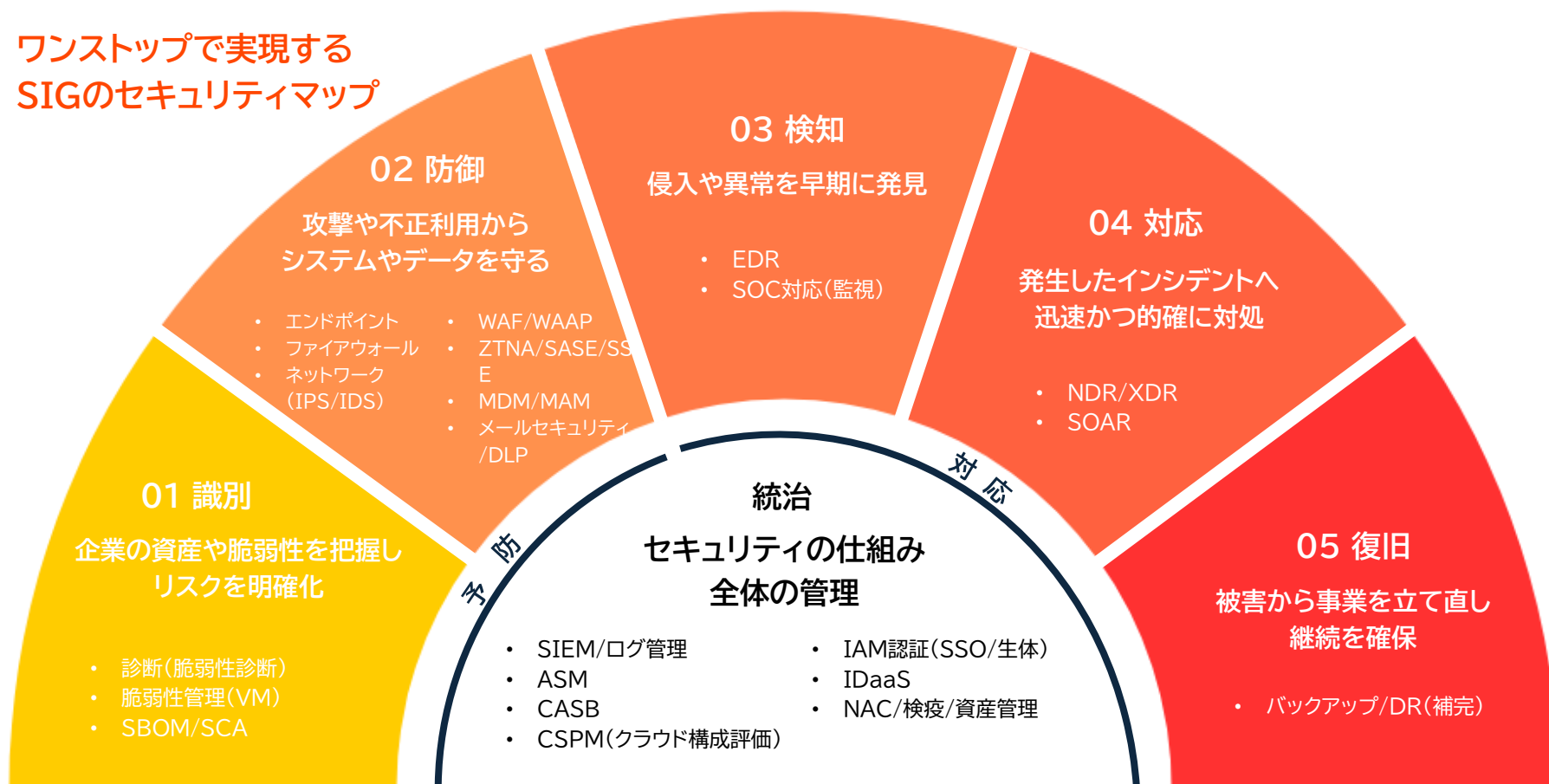
NRI Secureによると、諸外国でセキュリティ人材の充足状況を確認したところ日本は圧倒的に不足しています。



セキュリティ領域の取り組みについて

株式会社SIGでは、顧客のセキュリティ領域の対策についてコンサルティングから運用までワンストップで行っています。

ワンストップで実現する
SIGのセキュリティマップ



セキュリティ技術を競う社内のクイズコンテスト

セキュリティ技術向上を目指し、セキュリティの攻撃・防御両方の立場から暗号、ネットワーク、プログラミングなど様々な技術を使って知識を競うCTF(Capture The Flag)を開催しています。

CTF(Capture The Flag)とは

本来は旗取りゲームを表しますが、情報セキュリティ分野では、隠されたフラグ(情報)を見つけ出すことを目的としたハッキングコンテストを指します。参加者はサイバーセキュリティの知識や技術を駆使して問題を解き、制限時間内に多くのフラグを獲得したチームが勝利となります。

CTFの開催意義

世間的にセキュリティリスクの高まりや、セキュリティ人材の不足が叫ばれる中、SIGグループでは社内でセキュリティ人材を育成することを目的に、CTFを開催しています。これからもSIGグループではセキュリティ人材の育成を強化してまいります。



グループ会社のご紹介 - エイ・クリエイション -

株式会社SIGグループではM&Aによりグループ体制を拡張してまいりました。
今回は2025年3月期よりグループに参画した株式会社エイ・クリエイションについて
ご紹介いたします。



顧客のビジネスを深く理解し、開発・保守・サポートを
ワンストップで提供するビジネスパートナー

ビジネス要件を深く理解し、ユーザーにとってあるべきシステムを
ご提案することで、高品質なものづくりとサービスを実現しています。



■ 会社概要

社 名	株式会社エイ・クリエイション
所 在 地	東京都千代田区鍛冶町2丁目7-14 CIRCLES神田駅前ビル12F・13F
代 表 者	代表取締役 日置 邦宏
設 立	1990年4月23日
従 業 員	110名(2025年4月時点)

グループ会社のご紹介 - エイ・クリエイション -

エイ・クリエイションは顧客のビジネスを深く理解したユーザー目線のコンサルティングで、様々な業界業種のお客様を対象に開発・保守・サポートまでワンストップで提供しています。

ビジネスドメイン

01 システム開発



- ・ 製薬向け営業支援システム
- ・ 自動車関連事業システム
- ・ 人事給与パッケージ
- ・ 生鮮卸し向け流通システム

02 インフラ構築



- ・ クラウド環境でのシステム構築
- ・ オンプレ環境でのシステム構築
- ・ マイグレーション業務
- ・ システム運用・保守

03 ITサポート



- ・ PMO業務
- ・ 新技術・ツールによるDX化

強み

ビジネス要件への深い理解による あるべき開発・保守・サポートの提供

- ・ ユーザーに最適なシステムのあり方の提案
- ・ 効率的なシステム環境の整備

長期的で強固な信頼関係

多様なノウハウを蓄積



専門的な
製薬業界の知見



トレンドを先読みした
新技術やツール

グループ会社のご紹介 - エイ・クリエイション -

エイ・クリエイションの手がけるシステム開発・保守・サポートの一例をご紹介します。

トレンドを読み新しいツールを活用したDX化

大手企業の人事系部門のDX化サポート

今後主流になるであろうPower Platformを業界で先駆けて活用しDX化を実現。

新しいツールを活用した、より効率的なDX化サポートを今後も拡大予定。

システム統合によるユーザー業務の効率化

大手製薬会社向け営業支援システムの再構築

老朽化したアプリによるパフォーマンスの低下や、機能追加を繰り返したシステムの肥大化等による非効率なシステムの統合・共通化を図り、従業員が使いやすく、作業効率の高いシステムへ再構築。

現場目線でのシステム移行機能追加

カーシェア事業者向けシステムの開発

現場の車両点検と緊急対応が別々のシステムで管理されていることによる作業の煩雑さをシステム移行により効率化。また、セキュリティ強化をした上で外部業者による遠隔・開錠/施錠機能を追加し、管理会社のオペレーター業務を圧縮。



グループシナジー

SIGグループはグループ全体として事業からバックオフィス領域までお互いの強みや情報を連携することで、グループシナジーを創出し持続的な成長を実現してまいります。



事業領域が近いことを 活用した営業情報の共有

システム開発から保守・運用まで事業領域が似通っているものの、双方で提供していないサービスについて補完していきます。



新しい技術やツールの ノウハウ共有

目まぐるしく技術革新が起きている中、AIなどの新しい技術やツールを活用し、グループ間でノウハウを共有します。



グループで連携した 採用強化

IT 人材が不足しているため、グループのブランドバリューを活用し、効率的な採用の連携を図ります。

About

会社概要

SIG Group Mission

社会インフラのDX化に貢献する ITイノベーター

エネルギーや通信、交通などの巨大インフラをはじめ、医療、教育などの公共機能、人手不足に悩む地域社会、そして高度化するサイバー攻撃への対応。

私たちSIGグループは、日本の持続的な発展に欠かせない、経済と生活を支える社会インフラの領域で、ITによる横断的な課題解決を進めてきました。

より複雑化する課題に対し、IT人材を育成し、技術と知恵を組み合わせた本質的な解決へ。
これからもITの力で社会を支え、新たな可能性を築いていきます。



Company Profile



会社概要

社 名 株式会社SIGグループ

所 在 地

本社:東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷スクエアビル8F
グループ会社拠点一覧:
東京・横浜・酒田・仙台・甲府・名古屋
金沢・福井・大阪・福岡

代 表 者 代表取締役社長 石川 純生

設 立 1991年12月16日

従 業 員 819名(連結:2025年9月末日時点)

グループ会社

- 株式会社SIG(SIG)
- 株式会社アクト・インフォメーション・サービス(ACT)
- ユー・アイ・ソリューションズ株式会社(UIS)
- 株式会社エイ・クリエイション(ACR)

What We Do - 事業領域 -

SIGグループはあらゆる業界業種のお客様へ、システム開発からインフラ構築、セキュリティサービスを提供し、安心安全でより効率的な社会インフラの実現に貢献します。



主なターゲット

行政

通信

電力

金融

医療

交通

ビジネスドメイン

01 システム開発



- ・自治体DX推進
- ・電力業務システム
- ・次世代スマートメーター対応
- ・テレマティクス
- ・人事給与・健康保険システム
- ・ネットワークサービスの基盤開発

02 インフラ構築



- ・AI・データ活用基盤の構築
- ・クラウド基盤構築
- ・コンテナ化対応

03 セキュリティ対策



- ・SIRT運用
- ・脆弱性診断
- ・セキュリティコンサルティング

Group Company

M&Aで拡充してきた様々な専門性を持つグループ会社とのシナジーをもとに、包括的な課題解決を行なっています。

株式会社 SIG

システム開発

インフラ・セキュリティ

株式会社SIG

システムニーズに応える技術と30年の実績をもとに、あらゆる業種業態のシステム支援を提供しています。

- ・ 次世代スマートメーター対応
- ・ テレマティクス
- ・ 人事給与システム
- ・ クラウド基盤構築
- ・ SIRT運用
- ・ FAシステム



システム開発

インフラ・セキュリティ

ユー・アイ・ソリューションズ株式会社

お客様のITライフサイクルにあわせた人材・サービスをワンストップでご提供し、ビジネスに貢献します。

- ・ 金融インフラシステム
- ・ 官庁業務支援システム
- ・ 勤怠管理システム



システム開発

株式会社アクト・インフォメーション・サービス

NEC様、DNP様をメインユーザーに、プライムパートナーとして一步一步確実に成長し続けます。

- ・ 販売管理システム
- ・ 購買管理システム
- ・ 物流システム
- ・ 生産管理システム
- ・ 営業システム
- ・ 人事システム



システム開発

株式会社エイ・クリエイション

「高品質のモノづくり&サービス」をモットーに、お客様のIT戦略を実現します。

- ・ 販売管理システム
- ・ 物流システム
- ・ 人事システム
- ・ 加盟店管理システム
- ・ ECサイト構築
- ・ 医療情報営業システム



ディスクレーマー

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

さまざまな要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 当資料に関するお問い合わせ

株式会社SIGグループ

経営企画室 TEL 03-5213-4580(代表)